

9/8(木)

【分科会1】私のリカバリー宣言 2011 ～一人ひとりの、リカバリー～

高瀬建三、吉本広志、安達益枝、堀井とし子、久井田(原田)幾世、鶴水牧子、増川ねてる、福井里江

9月8日(木曜日)、「リカバリーの鍵」を探して、ポスター作りを行いました。トークライブの出演者の方にも参加していただき、約50の方が、4人一組のグループに分かれてのポスター作り。そして、「今、あなたがやりたいと思ったことはなんですか？」の問いかけのもと、私の「リカバリー宣言 2011」を各自でして終了しました。

ワークショップの構成としては、「0. テーマの共有→1. 話す→2. 聴く→3. 創る」
そして、「☆リカバリー宣言 2011」

0. 「リカバリー」についてイメージを共有した後、
1. グループの中で「私のリカバリーの鍵は〇〇です」というそれぞれの思いを出し合いました。
2. 次に、他のグループの話聞きに行こう！ということで、グループの代表一人を残して他の人は旅に出て、新しい鍵探し。残った人は自分たちのグループの鍵を、やってきた旅人たちと共有。
3. そして、旅に出ていたグループメンバーが帰郷してよいよポスター作り。そして、思いのリレー。

◆リカバリーの鍵は…

「当たり前の中に転がっている宝」「〈生〉」「素直な心 楽しむ」「THE RECOVERY」「やりたいことをやろうぜ」「認、許、慰、褒」「話して～、聞いて～、受け入れて～」「幸せな猿っ子」「チームきずな食堂」

それぞれの思いが結晶になっていく…

そして、「私のリカバリー宣言」を一人ひとりが書いて、今年の「リカバリー宣言」

◆今、やりたいと思っていることは…

「ちゃんと、お布団で眠る！！」「映画を撮る」「自分育て(子育て、育児、育自)」「〇」「日本、and 世界みんなに恩返し(目指せPSW)」「対話のところで日常を。」「笑って暮らす」「仕事」「WRAP活動を再開したい、旅をしたい、人生を楽しみたい(生きる事、病気のことを忘れる事)」「幸せになりたい」

マイクをまわすと次々に手が挙がり、手から手へと希望のリレー。部屋いっぱいに“やりたいこと”が広がっていく。そう。希望があれば、次の一歩が踏み出せる。

.....

さて、来年は、どうなるでしょうか？

一人ひとりが扉を開いて、一人ひとりをサポートし合って、

・・・みんな、時代をひらきましょう！

《増川信浩（WRAPファシリテーター）》